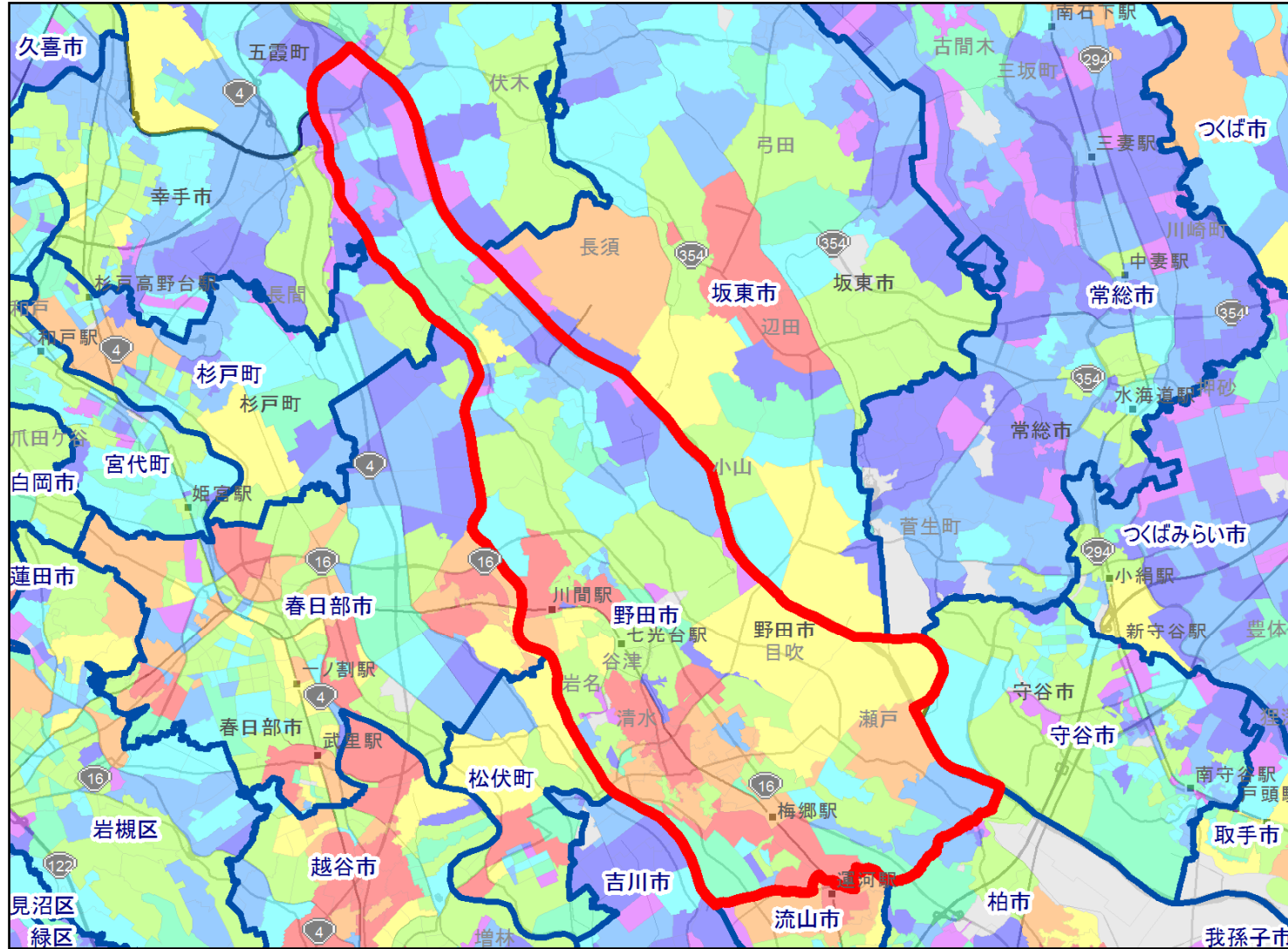


1. 商圈地図_野田市



凡例

- 野田市
- 市区町村界地図

H22国勢調査(町丁字等別集計)
人口総数

	0
	1 - 99
	100 - 249
	250 - 499
	500 - 749
	750 - 999
	1,000 - 1,999
	2,000 - 2,999
	3,000 - 4,999
	5,000 - 99,999

0 2.5 5 km

1. 商圈特性データ

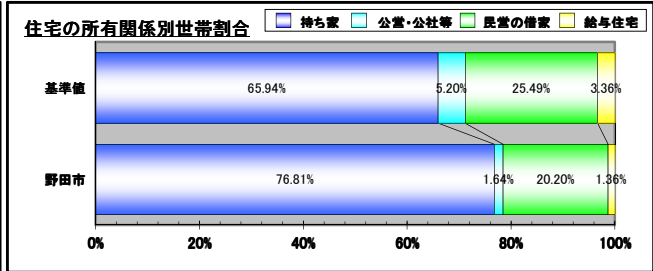
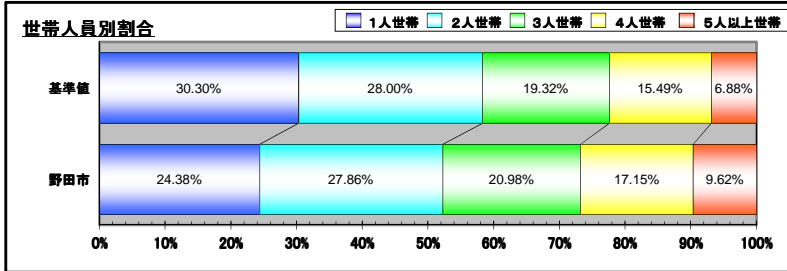
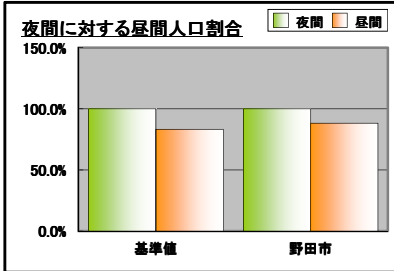
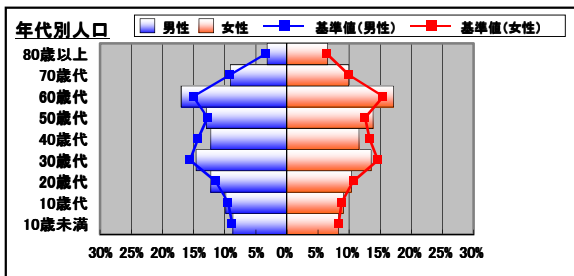
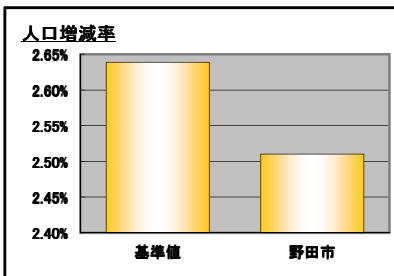
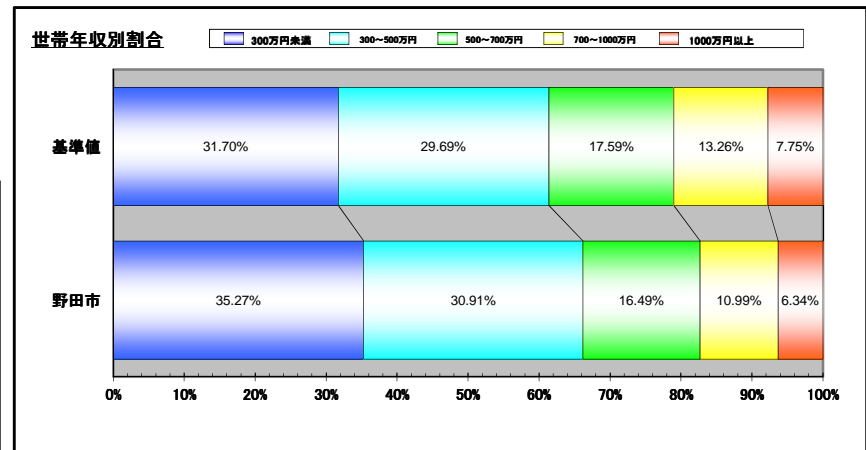
商圈	人口総数			年代別人口									人口増減数 (H17-H22)	昼間人口
	総数	男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上		
基準値 (千葉県)	6,216,289	3,098,139	3,118,150	523,603 (8.54%)	559,451 (9.13%)	677,057 (11.05%)	923,992 (15.08%)	843,724 (13.77%)	775,561 (12.65%)	934,677 (15.25%)	587,935 (9.59%)	302,826 (4.94%)	159,827 (2.64%)	5,174,525 (83.24%)
野田市	152,873	76,661	76,212	12,949 (8.49%)	14,381 (9.43%)	17,202 (11.28%)	21,426 (14.05%)	18,175 (11.92%)	20,438 (13.40%)	26,000 (17.05%)	14,526 (9.53%)	7,399 (4.85%)	3,744 (2.51%)	134,860 (88.22%)

商圈	世帯数					住宅の所有関係別世帯数				住宅の建て方別世帯数			
	総数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上	持ち家世帯	公営・公社等	民営の借家	給与住宅	一戸建て	長屋建て	共同住宅
基準値 (千葉県)	2,512,441	761,231 (30.30%)	703,490 (28.00%)	485,529 (19.32%)	389,270 (15.49%)	172,921 (6.88%)	1,607,089 (65.94%)	126,793 (5.20%)	621,204 (25.49%)	81,991 (3.36%)	1,323,002 (54.36%)	39,835 (1.64%)	1,070,984 (44.00%)
野田市	56,956	13,885 (24.38%)	15,869 (27.86%)	11,950 (20.98%)	9,770 (17.15%)	5,482 (9.62%)	42,797 (76.81%)	913 (1.64%)	11,254 (20.20%)	757 (1.36%)	43,582 (77.36%)	890 (1.58%)	11,864 (21.06%)

商圈	世帯年収					
	総数	300万円未満	300~500万円	500~700万円	700~1000万円	1000万円以上
基準値 (千葉県)	2,512,441	796,504 (31.70%)	745,936 (29.69%)	441,963 (17.59%)	333,215 (13.26%)	194,824 (7.75%)
野田市	57,971	20,446 ※ (35.27%)	17,917 (30.91%)	9,559 (16.49%)	6,373 (10.99%)	3,676 (6.34%)

※年収はH25年取別推計世帯数より算出。

★各割合の赤字は基準値を上回っている、青字は下回っている事を示します。



2. ポイントまとめ 野田市

1、全体特性を一言で表すと……

子育てが落ち着いたファミリー層エリア

2、データ分析

1)年代

10歳代、20歳代、50歳代、60歳代が基準値より多い。10歳未満、30歳代、40歳代、70歳以上は基準値以下。
→比較的子育ての落ち着いたファミリー層が多い。

2)昼間人口

基準値より4.98%高い。
→野田市内に通勤・通学している方がやや多い。

3)持ち家？賃貸？

持ち家世帯が基準値より10.87%高い。
→持ち家世帯がやや多い。

4)住宅の建て方

一戸建て世帯が基準値より23.00%高い。
→一戸建て世帯がやや多い。

5)世帯年収

世帯年収300万円未満、300～500万円が基準値より多い。500万円以上の世帯が基準値以下。
→やや年収の低い世帯が多い。

3、まとめ

比較的子育ての落ち着いたファミリー層が多いエリアです。持ち家、一戸建てともに平均的で、子育ての少し落ち着いた方が多いと考えられます。世帯年収が低い世帯が基準値よりも少し高い傾向にありますので、値引きクーポンや価格メリットを感じやすい告知に向いている可能性があります。